



## 平成 18 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 18 年 2 月 7 日

上場会社名 ユニチカ株式会社 （コード番号：3103 東証第一部、大証第一部）

（URL <http://www.unitika.co.jp>）

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 大西 音文

問合せ先責任者 役職名 経 理 部 長 氏名 大槻 和夫

T E L : (06)6281-5721

### 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 (内容) 引当金の一部において簡便的な方法を採用しています。  
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無  
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有  
 連結(新規) 2 社 (除外) 4 社 持分法(新規) - 社 (除外) 1 社

### 2. 平成 18 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 12 月 31 日）

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18 年 3 月期第 3 四半期	153,930	0.5	8,468	15.0	6,581	13.2	2,072	45.8
17 年 3 月期第 3 四半期	154,693	0.2	7,367	3.4	5,814	25.3	1,421	12.5
(参考)17 年 3 月期	217,868		14,058		10,957		4,265	

	1 株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
18 年 3 月期第 3 四半期	4.36	-
17 年 3 月期第 3 四半期	2.99	-
(参考)17 年 3 月期	8.97	-

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

#### [ 経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等 ]

本年度第 3 四半期(平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 12 月 31 日)のわが国経済は、堅調な輸出や民間設備投資の伸びを背景に、景気は回復基調で推移しました。しかし、当社グループを取り巻く環境につきましては、石化原料や重油燃料の価格が高止まり状態の中、収益を圧迫される状況が続いております。

このような情勢の下で、当社グループは、今年度で最終年度となる中期経営計画「飛躍 0 5」に基づき、高分子事業を中心とした収益強化施策や製造原価や販管費におけるコストダウン施策の推進に努めました。また、石化原料や重油燃料の価格高騰に対応するため、高分子事業、合成繊維事業において製品価格の改定を進めることにも取り組んでまいりました。

この結果、当第 3 四半期の売上高は 153,930 百万円(前年同期比 0.5%減)、営業利益は 8,468 百万円(前年同期比 15.0%増)、経常利益は 6,581 百万円(前年同期比 13.2%増)、四半期純利益は 2,072 百万円(前年同期比 45.8%増)となりました。

事業別の概況は次の通りです。

#### 【高分子事業】

フィルム事業では、ナイロンフィルムが流通在庫の調整やアジア地域の競合激化の影響を受け伸び悩みました。また、ポリエステルフィルムは包装分野で輸入品の影響を受け販売数量が減少しましたが、事業全体では前年同期並みの利益を確保しました。樹脂事業では、自動車部材や電気電子部品関連を中心に当社の独自樹脂「Uポリマー」やナノコンポジットナイロン樹脂の拡販が進み好調に推移しました。不織布事業は、建設・土木用途の需要低迷もあり、引続き低調に推移しました。なお、原燃料価格が高止まりする中、各事業ともコストダウン及び製品価格改定を含めた販売施策により収益を確保するよう努めました。

#### 【環境・機能材事業】

環境事業では、公共投資の縮減や競合メーカーとの受注競争の激化などにより、排水施設などの受注は獲得したものの事業全体では厳しい収益状況が続きました。また機能材事業では、ガラス関連で反射材用途などのガラスビーズが輸入品の影響を受け伸び悩みましたが、ガラスクロスが上期に続き産業資材分野を中心に堅調に推移しました。

#### 【繊維事業】

合成繊維事業では、ナイロンタイヤコードからの撤退など不採算分野の縮小や、引き続きコストダウンと製品価格の改定に努めて収益改善に取り組みました。ビニロン繊維は、アスベスト代替となるコンクリート・スレート補強用途が上期に続き堅調に推移しました。また、ポリエステル繊維は婦人衣料分野が低迷しましたが、資材分野を中心に健闘しました。ナイロン繊維は差別化製品の拡販に努めました。

一方、天然繊維事業では、コストダウンへの取り組みと差別化素材の拡販に努めましたが、ユニフォームや製品分野で伸び悩むなど、厳しい状況で推移しました。

#### 【生活健康・その他事業】

生活健康事業では、ハナピラタケ健康補助食品「白幻鳳凰」が広告宣伝による通販活動を継続し売上を伸ばしました。「こんにゃくセラミド」についても食品・飲料メーカーへの採用が進みました。また、美容健康補助食品「サブリード」シリーズの拡販にも努めました。なお、マンション販売やその他の事業はおおむね計画どおりに推移しました。

#### (2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第3四半期	341,169	32,881	9.6	69.13
17年3月期第3四半期	344,759	26,724	7.8	56.18
(参考)17年3月期	342,882	29,648	8.6	62.33

#### [ 財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等 ]

当第3四半期末の総資産は、前期末に比べ1,713百万円減少し、341,169百万円となりました。これは主として現金及び預金の減少によるものであります。

株主資本は、前期末に比べ3,232百万円増加し、32,881百万円となりました。これは主として四半期純利益2,072百万円によるものであります。

(参考)

平成 18 年 3 月期の連結業績予想 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	220,000	11,500	4,500

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 9 円 46 銭

[ 業績予想に関する定性的情報等 ]

業績は、当初の予想どおり推移しており、業績予想の修正はありません。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としているため、実際の業績は、今後の種々の要因によって異なる結果となる可能性があります。

添付資料

(要約) 四半期連結貸借対照表、(要約) 四半期連結損益計算書、セグメント情報

(要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第3四半期 (17.12.31現在)	前期 (17.3.31現在)	増減	前第3四半期 (16.12.31現在)
(資産の部)				
流動資産				
現金及び預金	17,738	22,636	4,898	19,719
受取手形及び売掛金	53,653	57,553	3,899	53,950
たな卸資産	64,187	54,822	9,364	56,440
その他の	8,921	8,105	815	8,999
流動資産合計	144,501	143,118	1,383	139,110
固定資産				
有形固定資産	166,570	168,336	1,766	171,000
無形固定資産	826	985	158	802
投資その他の資産	29,271	30,442	1,171	33,845
固定資産合計	196,667	199,764	3,096	205,648
資産合計	341,169	342,882	1,713	344,759
(負債の部)				
流動負債				
支払手形及び買掛金	36,768	38,250	1,482	38,923
短期有利子負債	104,493	104,573	79	120,362
その他の	25,935	27,497	1,562	25,307
流動負債合計	167,197	170,321	3,124	184,593
固定負債				
長期有利子負債	101,674	102,673	999	93,399
退職給付引当金	7,248	7,616	367	7,995
その他の	27,552	28,276	724	27,660
固定負債合計	136,474	138,566	2,091	129,055
負債合計	303,671	308,888	5,216	313,648
(少数株主持分)				
少数株主持分	4,615	4,345	270	4,386
(資本の部)				
資本金	23,798	23,798	-	23,798
資本剰余金	1,661	1,661	-	1,661
利益剰余金	2,377	1,256	1,121	1,139
土地再評価差額金	4,016	4,016	-	1,289
其他有価証券評価差額金	2,801	1,281	1,520	1,017
為替換算調整勘定	1,744	2,343	598	2,161
自己株式	28	21	6	20
資本合計	32,881	29,648	3,232	26,724
負債、少数株主持分及び資本合計	341,169	342,882	1,713	344,759

(要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当第3四半期 (17.4.1～17.12.31)	前第3四半期 (16.4.1～16.12.31)	増減	前期 (16.4.1～17.3.31)
売上高	153,930	154,693	763	217,868
売上原価	121,416	122,827	1,411	171,174
売上総利益	32,513	31,865	648	46,694
販売費及び一般管理費	24,044	24,498	453	32,635
営業利益	8,468	7,367	1,101	14,058
営業外収益				
受取利息・配当金	342	244	97	323
その他	1,520	2,083	562	2,425
営業外収益計	1,862	2,327	464	2,749
営業外費用				
支払利息	2,796	2,781	14	3,877
持分法による投資損失	102	203	100	662
その他	850	896	45	1,310
営業外費用計	3,749	3,881	131	5,849
経常利益	6,581	5,814	767	10,957
特別利益	1,522	-	1,522	3,706
特別損失	3,192	3,006	186	6,555
税金等調整前 四半期(当期)純利益	4,911	2,807	2,103	8,109
税金費用	2,789	1,235	1,553	3,656
少数株主利益	49	151	101	187
四半期(当期)純利益	2,072	1,421	651	4,265

セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期（17.4.1～17.12.31）

（単位：百万円）

	高分子 事業	環境・ 機能材 事業	繊維 事業	生活健康 ・その他 事業	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益							
・売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	46,400	16,049	75,140	16,340	153,930	-	153,930
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,391	424	325	2,258	6,400	(6,400)	-
計	49,791	16,474	75,465	18,598	160,330	(6,400)	153,930
・営業費用	43,944	16,422	74,090	15,375	149,833	(4,372)	145,461
営業利益	5,847	51	1,375	3,222	10,496	(2,028)	8,468

（注） 営業費用のうち、消去又は全社に含めた配賦不能営業費用は2,146百万円であります。

前第3四半期（16.4.1～16.12.31）

（単位：百万円）

	高分子 事業	環境・ 機能材 事業	繊維 事業	生活健康 ・その他 事業	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益							
・売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	46,201	16,856	76,370	15,264	154,693	-	154,693
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,500	301	249	2,231	5,283	(5,283)	-
計	48,702	17,158	76,619	17,496	159,976	(5,283)	154,693
・営業費用	42,836	16,445	74,943	16,278	150,504	(3,178)	147,326
営業利益	5,865	712	1,676	1,218	9,472	(2,104)	7,367

（注） 営業費用のうち、消去又は全社に含めた配賦不能営業費用は2,161百万円であります。

前期（16.4.1～17.3.31）

（単位：百万円）

	高分子 事業	環境・ 機能材 事業	繊維 事業	生活健康 ・その他 事業	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益							
・売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	62,166	27,842	105,056	22,802	217,868	-	217,868
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,365	368	377	2,983	7,094	(7,094)	-
計	65,531	28,211	105,433	25,786	224,963	(7,094)	217,868
・営業費用	57,023	25,358	102,345	22,783	207,511	(3,701)	203,810
営業利益	8,508	2,852	3,088	3,002	17,451	(3,393)	14,058

（注） 営業費用のうち、消去又は全社に含めた配賦不能営業費用は3,409百万円であります。